

授業科目 認知症の理解 II

【担当教員名】 西本 円	対象学年	3	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	○	○

【概要・一般目標：GI0】

- 1) 認知症に伴うことごとからだの変化と日常生活
- 2) 認知症の人と連携と協働
- 3) 認知症の人と家族の理解と支援
- 4) 認知症の人を取り巻く地域社会の在り方

【学習目標・行動目標：SBO】

- 1) 在宅や様々なサービス事業における認知症の人の生活について学ぶ。
- 2) 地域包括支援センターが、地域における認知症の人の生活支援のために果たしている役割について学ぶ。
- 3) 最近の高齢者を取り巻く事件と認知症の人の生活の関連性について学ぶ。
- 4) 地域生活自立支援事業の実際の在り方を学ぶことで、地域社会の在り方について探求しまとめる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	認知症の人の生活の理解	1～4	後期における本授業全体について計画を示す
2	認知症の人の在宅における生活	1	
3	周辺症状の背景にある、認知症のある人の特徴的な心の理解	1	
4	認知症の人の特性を踏まえたアセスメント（保たれている能力と低下している能力の把握、家族との関係の把握）	1	
5	認知症の人の特性を踏まえたアセスメント（保たれている能力と低下している能力の把握、家族との関係の把握）	1	
6	様々なサービスを利用している認知症のある人の生活	2	
7	地域包括支援センターが、地域における認知症の人の生活支援のために果たしている役割について学ぶ	2	
8	最近の高齢者を取り巻く事件と認知症の人の生活の関連性について学ぶ	3	
9	最近の高齢者を取り巻く事件と認知症の人の生活の関連性について学ぶ	3	
10	コミュニティ、地域連携、町づくり	3	
11	ボランティアや認知症サポーターの役割・機能	3	
12	家族の認知症受容の過程における援助	4	
13	家族の介護力の評価とレスパイト	4	
14	事例研究	1～4	
15	まとめ	1～4	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	認知症の理解	長谷川和夫	建帛社	2,200円＋税
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 テスト 50% 課題提出 50%	【履修上の留意点】
-------------------------------	-----------